

第5回日進市史編集委員会 議事録

- 1 日 時 平成25年9月25日(水) 午後1時～午後2時
 2 場 所 日進市役所南庁舎2階 第5会議室
 3 出席者 浅井常典委員、林董一委員、山本文次委員、田中八隆委員
 4 欠席者 服部誠委員
 5 事務局 武田教育部長、西村教育部次長兼生涯学習課長、宇佐美課長補佐、長原市史文化財係長
 6 報告事項 (1)市史編さん事業の進捗状況について
 7 確認事項 (1)発刊スケジュールについて
 (2)自然編・民俗編の巻構成等について
 (3)その他

発言者	発言内容
事務局	ただいまより、第5回日進市史編集委員会を開始いたします。 はじめに、日進市史編集委員会代表の浅井常典委員よりご挨拶をお願いいたします。
代表	【挨拶】自然・民俗両部会の委員が精力的に調査した成果をもって、現在、執筆を進めております。良い結果を出せるようできる限り力を尽くしたいと思っています。
事務局	次に、報告事項に移ります。 このあとの議事進行は代表の浅井委員をお願いいたします。
代表	では、報告事項(1)市史編さん事業の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】 【要旨】 平成24年10月開催の第4回日進市史編集委員会以降、現在までの市史編さん事業の進捗についてご説明します。 自然部会は、年1回から2回の全体会議及び毎月1回の専門部会会議を開催し、調査及び執筆の進捗確認・情報交換等を行いました。自然部会は、各委員が個別に実施している確認調査・資料のまとめなどが大きなウエイトを占めております。今年度は、追加調査及び執筆を進めております。また、広報にしんなどで「しぜん調査隊」を募集し市史講座を行いました。 民俗部会は、大字区ごとに2回ずつ行う合同聞き取り調査が主で、この1年間は3大字区で聞き取り調査を実施し大字区ごとの調査は終了しました。今年度は追加調査及び執筆を進めております。これまでの通算で、14地区において、大正から昭和初期にお生まれの方延べ約450名にお話を伺いました。また、各委員が個別にお祭りの行事や冬至弘法、恵比寿講、弁天祭りなどの行事について取材等を実施いたしました。
代表	ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。
委員	民俗部会は7月に会議を開催し、各委員から順調との報告がありました。執筆が終了した委員もいます。また、執筆を進める中で調べ足りない部分が出てくるので、追加調査をしつつ執筆を間に合わせたいと思っています。
代表	自然部会の執筆者は数多くの経験者がおり、同じく執筆が終了した委員がいます。私は手書きなので、間違えると訂正に時間がかかります。
委員	執筆要領に基づいて執筆をしていますか。
委員	はい。
委員	自然編と民俗編は異なる内容ですが、執筆要領はそれぞれで作成しましたか。
事務局	自然編、民俗編それぞれで執筆要領を作成し、執筆をいただいております。
委員	経験豊富な委員が確認したしっかりした執筆要領ですので、ご安心ください。

委員	自然編と民俗編は別冊であり、一冊の本にするわけではなく、執筆要領もそれぞれにあわせたものが作成できたとお聞きし安心しました。
委員	自然編、民俗編ともに順調に進んでいるようでよかったです。
代表	他にご意見等はございませんか。 ないようですので、引き続き市史編さん事業を進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。
代表	次に、確認事項に移ります。 では、確認事項(1)発刊スケジュールについて事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>【資料に沿って説明】</p> <p>【要旨】</p> <p>発刊スケジュールについては、前回の編集委員会においてご承認いただいた内容で進んでおります。編さん委員会は平成21年度から年1回ずつ、編集委員会は平成22年度から年に1～2回実施してきました。今年度は編さん委員会、編集委員会ともに1～2回開催する予定です。</p> <p>次に、自然部会ですが、昨年度から継続して執筆が順調に進捗しており、10月に原稿をご提出いただくスケジュールとなっています。原稿をご提出いただいた後は、各分野の代表者が原稿チェックを行い、その後、部会長、専門部会、監修者及び事務局が表現の統一などの全体チェックと本文編及び目録のページ数バランス等を確認します。印刷については、自然編は本文編と目録編の2冊であること等により、平成26年度の当初には契約できるよう準備を進めたいと考えております。</p> <p>また、民俗部会ですが、12月に原稿を提出していただくスケジュールです。ご提出いただいた原稿は部会長がチェックを行い、その後に事務局と監修者のチェックとなります。ほぼ完璧な原稿を平成26年度の途中で契約・入稿を行う予定です。</p> <p>なお、自然編・民俗編ともに平成26年度末までに発刊を予定しております。</p> <p>最後に広報については、市史の刊行にあわせて「広報にしん」でPRを行ってまいります。また、11月に市史講座「尾張の子供行事」を実施する予定です。</p>
代表	発刊スケジュールは、前回の編集委員会で審議し了承しておりますが、改めて確認事項として説明していただきました。 ただいまの説明に対しご質問・ご意見等ありましたらお願いします。
代表	ご質問等はございませんか。 ないようですので、事務局より説明がありました協議事項(1)発刊スケジュールについては、編集委員会として承認することとしてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
代表	それでは、(1)発刊スケジュールについては編集委員会として承認いたしました。平成26年度中の市史の完成を目指して、今後もスケジュール管理に努めていただきますようよろしくお願いいたします。 次に確認事項(2)自然編・民俗編の巻構成等について事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>【資料に沿って説明】</p> <p>【要旨】</p> <p>自然編・民俗編の巻構成等ですが、前回の編集委員会においてご承認いただいたとおり、判の大きさはいずれもB5判とし、自然編は1段組の横書き、民俗編は2段組の縦書きの予定です。なお、自然編は本文編と目録編の2冊で1巻と考えております。</p> <p>また、自然編の内容について、自然部会の専門部会で再度検討し、執筆要領に詳細を加筆いたしました。巻構成で前回から変更となっている部分は、本文の索引はなしとし、目録にて本文に記載のある種が記載されているページを明記する点です。</p> <p>次に民俗編の内容ですが、前回お示ししたものと変更はございませんが、今後の執筆状況により変わる場合もございます。なお、索引につきましては、用語取り上げの基準が難しい点もあり、付けるかどうか部会で継続して議論しているところです。</p>

代表	ただいまの事務局の説明に関して、ご意見・ご質問等はございませんか。
委員	民俗編の索引を付けるかどうかについて、皆さんはどのように考えますか。
委員	民俗部会の意思決定でよいと考えます。
委員	索引を付ける場合は、そのためだけの部会をつくる位の慎重さが必要だと考えます。
委員	民俗編は、目次で大体の見当がつくと思います。
代表	自然編の本文に掲載された種は、目録の種ごとに本文記載ページを明記することにして、索引の代わりとしたいと考えます。
委員	自然編の第6章「観察のポイント」の7節は「社寺林」となっているが、執筆対象は神社のみとなっているため、節名を考えたほうがよいと思います。
委員	自然部会の専門部会で検討し直します。
代表	他にご意見・ご質問はございませんか。 ないようですので、(2)自然編・民俗編の巻構成等については、本日ご意見をいただいたことについて部会で確認のうえ意思決定を行っていただくこととし、編集委員会として承認することとしてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
代表	それでは、(2)自然編・民俗編の巻構成等について、今後の執筆状況等によっては変更になることも含め、現段階での予定として編集委員会として承認いたしました。市民に親しみやすい市史を目指して計画的に進めていただきますようよろしくお願いいたします。 次に確認事項(3)その他、について事務局から何かございますか。
事務局	2点ございます。 1点目は、市史の装丁についてです。自然編と民俗編で統一が必要な部分がございます。来年度の予算が確定されていないため、詳細を決定することができませんが、ケース、表紙、見返し等について、事務局で統一させていただきたいと考えております。 2点目は、原稿料、監修料及び校正料についてですが、こちらも来年度の予算が確定しておらず、大変申し訳ございませんが、現段階では金額をお示しすることができませんことをご報告いたします。
代表	ただいまの事務局の説明に関して、ご意見・ご質問等はございませんか。
委員	表紙に薄紙をつけますか。
事務局	つけない予定です。
委員	表紙の薄紙はつけてもすぐ破れますので、つけないほうがよいと思います。
委員	背表紙の字は、市町村長の手書きの場合もありますが、将来に新たな市史が編さんされる場合を想定すると、字を統一させる意味で印刷文字がよいと思います。
委員	予算に余裕がある場合は、葉を作成するとPRになります。
委員	自然編、民俗編ともに何部ずつ印刷をする予定ですか。
事務局	他市町も参考にし、1,000部から1,500部を想定しております。
代表	他にご意見・ご質問はございませんか。 ないようですので、(3)その他については、本日いただいたご意見を事務局へお渡しし、予算の範囲で事務局一任とし、編集委員会として承認することとしてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
代表	これで本日の確認事項はすべて終了いたしました。 ここで議事の進行を事務局にお返しします。

事務局	<p>それでは、連絡事項について今後の会議予定をご説明いたします。</p> <p>この後、10月に第5回日進市史編さん委員会を開催する予定です。今後の編集委員会は今年度で開催するような案件が生じた場合には、再度開催することもございます。その場合は、改めてご連絡差し上げたいと思いますのでよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>最後に武田教育部長より一言お礼を述べさせていただきます。</p>
教育部長	<p>本日はご多忙のところお集まりいただきとともに、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。来年度はいよいよ市史の刊行年度となります。執筆委員の皆様には順調に執筆を進めていただいていると伺っており、深く感謝しております。いい市史を完成できるようにできる限りのことをさせていただきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。</p>
事務局	<p>これもちまして第5回日進市史編集委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>
	<p>(午後2時00分 閉会)</p>